WASEDA ALUMNI
SINCE 1885

大阪早稲田倶楽部

大阪早稲田倶楽部　校友会大阪府支部共催の新年会（2024年１月20日　シェラトン都ホテル大阪で）

2024.autumn **vol.179**

倶楽部総会：新会長に黒川氏を選出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
倶楽部総会：作家・秋吉理香子さんトークセッション・・・・・・・・・・2〜3
新会員歓迎：21人迎え、和やかに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
早稲女会：夏の茶道体験／永守コレクション見学会・・・・・・・・・・5
早稲女会：初めての信貴山 仲秋茶会に感動！・・・・・・・・・・・・・6
ハイキング：日本最古の神社と長谷寺をめぐる・・・・・・・・・・・・・・7
ハイキング：古代の国造りに関わる史跡をたどる・・・・・・・・・・・・8〜10
青年部：ゴルフコンペ 植田さん優勝／14人で親睦会・・・・・11
校友会：ゴルフ大会で秋元さん優勝・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
写真部会：加藤直樹さん 天神祭写真コンテスト入賞・・・・・・・・・12
食べ歩き：難波・蓬莱本館で楽しくランチ会・・・・・・・・・・・・・・13
稲雲会：俳句会一年の歩み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14〜17
校友会：支部総会で田中総長ご講演・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
校友会：本部の商議員、代議員に支部から26人選出・・・・・・・19
会員動静：新入会員、退会会員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・20〜21
役員・理事：2024年度役員・理事名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・22

新会長に黒川氏を選出

新会長の黒川明氏

大阪早稲田倶楽部の2024年度定時総会が５月24日（金）、大阪新阪急ホテルで開催されました。来賓を含め96人が参加し、懇親会では和やかな歓談の輪が広がり、参加者たちは久しぶりの再会を楽しみました。

総会に先立ち、小説家の秋吉理香子さん（第一文学部卒業）と小林一則さん（昭和55年政経卒業）が「大阪と文化」をテーマにトークセッションを行いました。２人は大阪の文学の歩みや発展、秋吉さんの作品について熱心に語り合い、聴衆を魅了しました。

総会では、2023年度の活動報告と2024年度の活動計画、決算報告、予算案、役員人事案が審議され、全て可決されました。新理事の半分が改選され、20名の新理事（役員）が選出されました。総会後、すぐに新理事（役員）会が開催され、新会長に黒川明氏が選出され、理事長には小西康仁氏が再任されました。

前会長の熊澤一郎氏（右）

懇親会のにぎわい

懇親会では、新会長の黒川明氏が「歴史ある大阪早稲田倶楽部の会長の任をうけることはとても光栄なこと。世代を超えた楽しい校友の集まりを発展できるように頑張ります」と挨拶されました。参加者らはビュッフェ形式の料理を楽しみながら、テーブルを巡って談笑しました。また、和田浩孝副理事長による恒例の「人生劇場」の一幕は会場を大いに盛り上げ、聴衆から大きな拍手が送られました。

和田浩孝副理事長による恒例の「人生劇場」の一幕

最後に、参加者全員で高らかに校歌を歌い上げました。早慶戦のスタンドのように、皆が一体となり、左腕を腰に当て、右腕を動かしながら校歌を歌う姿は感動的でした。懇親会は大いに盛り上がり、次年度の活動に期待を寄せつつ終了しました。

収支計算書

（2023年4月1日～2024年3月31日）

収入の部		
会　費		6,654,759
寄付金		500,000
出版協力金		200,000
事業収入		1,883,000
雑収入		380,045
当期収入合計		9,617,804

支出の部		
事業費	事業費	2,752,301
	印刷費	356,400
	会員名簿	512,600
	小　計	3,621,301
経費	給料・諸手当	1,223,210
	家賃・共益費	2,622,034
	通信費	617,140
	消耗品費	1,038,466
	振替手数料	55,826
	慶弔接待費	35,420
	雑　費	440,880
	広告宣伝費	0
	システム改修費	1,298,000
	予備費	0
	小　計	7,330,976
基金振替		500,000
当期支出合計		11,452,277
当期収支差額		△1,834,473

（単位・円）

【来賓】

首藤 信彦さま	校友会常任幹事
山口 晋一さま	校友会副事務局長兼総長室調査役（校友連携・社会連携）
渡邉 慎一郎さま	大阪府地域コーディネーター 研究推進部事務副部長
阪本 成樹さま	大阪府地域コーディネーター 早稲田大阪学園 学園長 常務理事
村上 徹さま	早稲田摂陵高等学校 校長
永島 宣彦さま	校友会京都府支部長
大鳥 裕士さま	校友会兵庫県支部副支部長兼神戸早稲田倶楽部会長

人気作家秋吉理香子さんのトークセッション

５月24日の倶楽部総会では、倶楽部員でもある小説家・秋吉理香子さんのトークセッションが行われました。聞き手は、倶楽部理事の小林一則さん（昭55年政経）。抄録は以下の通り。

小林：今をときめく人気ミステリー作家の秋吉理香子さんにお越しいただきました。秋吉さんは宝塚市のお生まれで、お父様のお仕事の関係で、ロサンゼルス近郊の高校に進まれ、大学は芥川賞作家の三田誠広さんが教授を務める早稲田大文学部へ。卒業後はアメリカの大学院で映画・テレビ制作の修士号をとられ、帰国して、執筆活動に。2008年にデビューし、2013年に映画化された「暗黒女子」で一躍有名になられました。テレビドラマになった「絶対正義」など著作は21に上ります。小説家を志されたのはどうしてですか。

秋吉：小学生の頃から、小説を読んでいました。太宰治や三島由紀夫、カフカとかカミュ。暗くて重い話ですが、これが文学だと思って中学生のころには小説家になる決心をしていました。早稲田は大好きな三田先生がおられたので選びました。

小林：「イヤミスの女王」とも呼ばれていますね。ハッピーエンドでなく、もやもやした読後感が残るような作品で、嫌なミステリーの「イヤミス」。人気のジャンルですよね。

秋吉：イヤミスの女王って方は何人もおられるんですが、私もその一人に挙げていただいて光栄です。お金を払って、どうして、そんな嫌な思いがしたいのだろうと思うんですけどね。

小林：あえて、そういう結末を狙って作品を書いておられるんですか。

秋吉：自分では楽しい話を書いているつもりなんですが、小学生の頃に読んだ太宰やカフカの影響が出て、最後は救いがなくなっているのかもしれません。ただ、人生のきらめきだったり、闇だったり、そういったものを拾って書けていけたらと思いながら書いています。

小林：テーマはどのように選ばれますか。

秋吉：いろいろなものに目を向けますが、修道院を舞台にしたいと20年ほど温めています。ジェンダーや社会的なものも。今は中学受験ものを書きかけています。

小林：大阪を舞台にした新作「月夜行路」もありますね。

秋吉：大阪って文学の町なんですよね。江戸川乱歩は大阪の新聞社に勤めていましたし、乱歩のデビュー作は大阪で書かれました。「月夜行路」

は大阪の文学の謎解きミステリーです。乱歩のほか織田作之助や近松門左衛門とか登場します。

小林：大阪の文学もそうですが、大阪早稲田倶楽部は多士済々な方がおられるので、取材いただいて小説になればいいですね。

秋吉：先輩方のところに伺わせてください。お願いします。

小林：ネタの仕込みや締め切りに追われたり、大変でしょうね。

秋吉：全然書けない日もあれば、30枚も書けた日もあったり。ムラがあるんです。連載を三つ抱えていたころ、10日に1回、締め切りが来て休めなくて死ぬかもしれないと思いました。リサーチでは大正時代を舞台にしたミステリーの折、歴史的なことが関わってくるので、たった一行書くために百冊ぐらい資料を読んだこともありました。時間のマネジメントは大変ですが、その一文が書けたときは、すごくよかったって心から思える瞬間なので、それは、後悔もまったくなく、そういう丁寧な作業はしていきたいなと思っています。

小林：作家さんで、神様が降りてきて、勝手に筆が動きましたというのを聞いたことがありますが、そんなことってありますか。

秋吉：あります、あります。本当に煮詰まってしまって、何も思い浮かばないけど、締め切りが迫って、でも、もう無理。作家辞めますみたいに思っているときがあるんですけど、本当にあっ、これって、あの話とあの人がつながるじゃないかと、はっと思うことがあって、そっから、ばーと書いて、仕上げて、ギリギリ間に合うということがあるので。降りてくるって感じ、本当にあります。

小林：それは、いつもじゃなくて。そのうちおりてくるから、のほほんと、してたらいいというわけでもないんでしょうね。苦しまないと。

秋吉：そうですね。苦しんだ後の、神様からのご褒美かなと思ってます。

小林：出版社からの依頼も多いと思いますが、これから先はどのような執筆活動をされますか。

秋吉：今、５年先まで、いっぱいいっぱいで、１作、１作を地道にこなしていくしかないなという感じです。新しい連載も始まります。それようのネタを考えなくてはいけないので今、本当にパニックになっていますが、みなさんに応援いただいて嬉しいです。

小林：ありがとうございました。秋吉さんは倶楽部の誇りですのでお身体に留意され、ご活躍ください。

◇あきよし・りかこさんのプロフィール

兵庫県出身。早稲田大学第一文学部卒業。カリフォルニア州ロヨラ・メリーマウント大学大学院で映画・TV番組制作修士号を取得するなど、米国に１５年近く住み、現在は大阪市在住。2008 年、短篇「雪の花」で Yahoo ！ JAPAN 文学賞を受賞し、2009 年に『雪の花』でデビュー。読後に嫌な気持ちになるミステリー「イヤミス」の書き手として知られる。「絶対正義」（幻冬舎）や、映画化された「暗黒女子」（双葉社）などの著書がある。

21人を迎え　和やかに稲門の輪広がる

北垣　博章（平成15年政経）

大阪早稲田倶楽部の秋の新入会員歓迎会が24年10月11日（金）、大阪市北区のホテル阪急レスパイア大阪で開催されました。大学を卒業したばかりの社会人１年生から昭和54年卒の大先輩まで、例年よりも多い21名の新入会員にご参加いただき、既存会員を含めた総勢約70名が親睦を深めました。

冒頭、スクリーンに新しい応援歌「そして紺碧の空へ」の動画が流れ、開会への期待が高まります。開会のあいさつは小西理事長（昭和52年商）が務めました。小西理事長は、当初は閉会のあいさつの予定でしたが、急な段取りの変更にもかかわらず、きちんと笑いもとり、和やかな雰囲気での開会となりました。

司会の荒武副理事長（昭和56年法）が大阪早稲田倶楽部の歴史を紹介した後は、恒例の新入会員の自己紹介です。壇上の新入会員が出身高校を告げるたびに、会場から「名門！」の合いの手が入り、笑いが起こります。入会の経緯は、「ホームページで知った」「大阪への転勤」「既存会員の紹介で」など様々ですが、個性あふれる新入会員のあいさつは楽しく、自己紹介の時間は、あっという間に終了しました。一度でも顔を合わせれば、「何十年来の友」のようになるのが、大阪早稲田倶楽部の特徴です。新入会員らはその後、各テーブルで名刺交換したり、談笑したりして「稲門」の絆を感じていました。

各部の活動紹介の時間が過ぎ、古市副理事長（昭和57年教育）による閉会の言葉が終わると、会はいよいよ最高潮に。小西理事長が「人を恋うる歌」を独唱し、拍手喝さいを受けました。ただ、「友を選ばば書を読みて　六分の侠気四分の熱」といった古風な歌詞にポカンとした表情を浮かべる若手もいて、盛り上がる「昭和おやじ世代」とのギャップが対照的でした。

締めの校歌斉唱は、藤林精二さん（昭和56年法）に、肩の痛みを押しながらもリードしていただき、参加者全員で3番まで高らかに歌い、大盛況のうちに終了となりました。

なお、会場には、大阪早稲田倶楽部110周年に向けた募金箱が用意され、多くの募金が集まりました。この場を借りて、お礼申し上げます。ありがとうございました。今後ともご協力よろしくお願いします。

早稲女会　夏の茶道体験会

豊島　惠子(昭和52年法)

大文字五山の送り火の翌日（８月17日)、うだるような暑さの中、早稲女会主催の夏の茶道体験会が開かれました。京都は西院のお稽古場に６人で行ってきました。

ご指導いただいたのは、武家茶三斎流の梅村尚子先生。三斎流は、茶人としても名高い戦国武将の細川忠興が始祖の流派です。千利休の教えを厳格に受け継ぐ流派として知られていますが、お家元直系の梅村先生は、古い決まり事を大切にしながらも、のびのびとした現代のお茶を目指されています。

今回はあまりに暑くて、外待ち合いは省略しましたが、六畳躙（にじ）り口付きの茶室でこぢんまりとお茶を頂戴しました。風炉の季節、茶道・裏千家十四代家元淡々斎直筆の掛け軸に、清楚なムクゲの一輪挿し。とても爽やかです。

器は夏らしい薄手の清水焼のほか、ガラスの器もあり多彩。

えっ、お茶の器ってこんなに自由なの、とびっくり！　冷たいフラッペを盛るのに使いたくなるような、金地を流したガラスの器に、すっきりした味わいの抹茶「天香白」が映え、まさに一幅の絵を見るようでした。重菓子は、出町ふたばからのれん分けされたお店の「餡キリ」。すっきりした甘さに、皆さんの口からため息が漏れました。干菓子は、松江の彩雲堂さんのものでした。

すべて茶道の所作は、利休が好んだ能に由来するとのことで、梅村先生と田尾秀寛先輩（信貴山 真言宗 釋迦院秀寛庵住職）から、足の踏み方を教えていただきました。

お茶のあとは、梅村先生、田尾先輩もお招きしての夕食会。この席でも、引き続き日本の伝統芸術について深いお話しが繰り広げられ、充実した夕べとなりました。

永守コレクションギャラリー見学会

白原　早織(平成11年人科)

世界的モーター企業、ニデック株式会社の敷地内にある、ギャラリーを見学してきました。歴史的な、美しいオルゴールやからくり人形が、沢山展示されていました。からくり人形作家でもある館長さんのお話を伺いながら、美しく楽しい空間で、オルゴールの音色に心が癒されました。清水憲彦先輩にご紹介いただいたおかげで、普段は聴けないものまで聴かせていただけました。

平日の開館になりますが、皆さんも機会があればぜひ、見学にお出かけ下さい。見学は入場無料で楽しめます。(要予約)

烏丸にはニデックのオルゴール商品が展示されているショールームもあります。こちらではニデック製の立派なオルゴールも購入できるようですよ。

永守コレクションギャラリー
https://nagamori-gallery.org/

ニデックショールーム
https://nidec-orgelshowroom.com/

初めての信貴山 仲秋茶会に感動！

種田（おいだ）ゆみこ（平成１年商）

大好評だった昨年の企画に続き、大阪早稲女会部会長の白原早織さん（平成11年人間科学）が10月６日（日）、信貴山の仲秋茶会を企画してくれました。田尾秀寛先輩（昭和44年商）が院主を務められる信貴山釈迦院での秋の大お茶席です。

ようやく暑さも少し和らいできた頃で、気持ちよく秋を楽しめました。今回は、奈良県トップクラスの先生方による表千家・裏千家のお茶席の２席と、とても美味な点心（お弁当）もついて参加費が3,500円とは！初参加の私には、大変お得に感じられました。

最初に入った裏千家の会場では、茶箱「雪点前」という、他では見たことがないとても珍しいお点前にびっくりしました。「雪」「月」「花」「卵」と、いくつかある茶箱のお点前の中でも難しいものらしく、「今回のために、かなり練習しました」と、亭主（お茶を点てる方）と半東（亭主の補助をする方）が、口をそろえておっしゃっていました。写真撮影は厳禁だったので、この記事で茶箱などのお道具をお見せすることができず、本当に残念！

一席目が終わったところで、点心をいただきました。田尾先輩のお陰で、我々だけの部屋を貸していただいたので、お茶会に緊張気味だったメンバーもゆっくり休憩できました。

午後からは表千家の会場に入りました。ネットでこのイベントが紹介されていたためか、外国人のお客も多く、隣の日本人のお客が英語で説明される様子が、茶道を通した国際交流という雰囲気でした。ここは普通のお点前でしたが、お茶をいただいた後、説明付きで、素晴らしいお品のお茶碗や茶道具の拝見もできました。

今回は、お茶会初心者もベテランも、どなたでも素敵な体験ができる企画ということで、田尾先輩を含む男女半々の12人が参加。年齢、性別も多様で、英語も聞こえてくる、まさにダイバーシティな雰囲気でした（笑）。

ちなみに、昨年の参加者からは、「今回は田尾先輩が私たちにずっと付き添ってくださったお陰で、昨年に比べて、どの会場もすぐに入ることができた」と聞き、改めて、田尾先輩に感謝する次第です。また、今回企画してくれたのに、お仕事で参加できなくなった白原さんにも感謝の気持ちでいっぱいです。素晴らしい体験に、大満足の秋の一日でした！

日本最古の神社 大神神社と牡丹で有名な聖武天皇ゆかりの長谷寺を巡るウオーク

田村　昌之(昭和54年法)

2024年 4 月21日（日）、ハイキング部主催のウォークが行われました。行程は、大神神社に参拝し、門前町にある食堂で各自、三輪素麺の昼食をとった後、ＪＲ三輪駅から桜井駅を経由して近鉄長谷寺駅へ向かい、長谷寺を参拝するというもの。大阪早稲田倶楽部の13人と、宝塚稲門会の４人、そして神戸早稲田倶楽部の１人の計18人が参加しました。

大神神社は、「日本最古の神社」と呼ばれています。創祀に関わる伝承が『古事記』や『日本書紀』に記されていることや、第十代崇神（すじん）天皇の時代に、国造り神、国家の守護神として篤く祀られたとされていることなどがその理由です。

本殿を設けずに、拝殿の奥にある三ツ鳥居を通して三輪山に鎮まる大物主大神を拝するという、日本の原初から伝わる神祀りの姿を伝えていることも特徴です。現存する拝殿は、４代将軍徳川家綱公により再建されたもので、国の重要文化財に指定されています。

次に訪れた長谷寺は、686年、道明上人が天武天皇のために銅板法華説相図（国宝）を西の岡に安置したことが始まりと伝わります。平安時代には貴族、江戸時代には徳川家の崇敬を集め、帰依を受けて栄えました。舞台造の本堂（国宝）は徳川家光による再建です。長谷寺に伝えられてきた約千点もの寺宝類の一部が春と秋に展示されています。

境内のいたるところで見ごろを迎えた大輪の牡丹の花が出迎えてくれ、私たちに一時の癒やしを与えてくれました。

ハイキング部

大化の改新、藤原宮など古代の国造りに関わる史跡をたどるウオーク

～安倍文殊院・古墳4カ所・天香久山神社・藤原京跡など（奈良県桜井市、橿原市）～

田村　昌之（昭和54年法）

一面にコスモスが咲いた藤原京跡で

奈良県の大和三山（畝傍山、耳成山、香久山）の中央に位置する藤原宮跡は、約1300年前、わが国の首都「藤原宮」があったところ。聖徳太子や大化の改新ゆかりの地から藤原宮まで、古代の国家形成に関わる史跡をたどるウオークを10月19日に行いました。

午前10時半、スタート地点のＪＲ桜井駅跨線橋に集まったのは、25人（早稲田倶楽部19人、神戸早稲田倶楽部、宝塚稲門会各３人）。今回のルートは、桜井駅西口～上之宮遺跡～艸墓古墳～安倍文殊院～土舞台～谷首古墳～妙法寺～天香久山神社～奈良文化財研究所・藤原宮跡資料室～藤原京跡～橿原市藤原京資料室～おふさ観音～近鉄八木駅です。

最初に訪れた艸墓（くさはか）古墳は、閑静な住宅地に囲まれた、公道からは見えないところにあります。最大の特徴は、横穴式古墳の石室内にある、家形石棺が設置当時のまま残っていること。石室内には自由に入ることができ、加古川流域産の竜山石をくり抜いて造られた石棺に直接触れたり、石棺の回りを一周したりできます。

艸墓（くさはか）古墳

次に訪れたのは上之宮遺跡です。日本書紀には厩戸皇子（聖徳太子）が斑鳩に移る前に住んでいた地が「上宮」「上殿」との記載があり、この地が古くから「上之宮」と呼ばれていたことなどから、厩戸皇子の宮跡とする説が有力です。発掘調査で掘り出された場所には、石組みによる園池の遺構があり、誰でも立ち入ることができました。

上之宮遺跡

上之宮遺跡近くの小高い丘の上に安倍文殊院があり、その境内には西古墳と東古墳があります。特に西古墳は、国の指定史跡の中で特に重要である「特別史跡」に指定されており、古墳内部の築造技術の美しさは日本一との定評があります。

被葬者は阿倍倉梯麻呂（あべのくらはしまろ）とする説が有力です。阿倍倉梯麻呂は大化の改新（645年）の際に左大臣に任じられ、大化２年（646年）の薄葬令（身分に応じて墳墓の規模などを制限した勅令）時の政府の首班でした。薄葬令以降、墳陵は小型簡素化され、前方後円墳の造営はなくなります。７世紀末には仏教思想による火葬が導入され、702年に天皇として最初に火葬された持統天皇は天武天皇陵に合葬され、707年に崩御した文武天皇は火葬の後に八角墓に葬られたのを最後に古墳の築造は終了し、古墳時代が終わったとされています。このようなことから、西古墳は古墳時代の終末期に造られた古墳といえます。

安倍文殊院のご本尊は、文殊菩薩（快慶作　国宝）です。大化元年（645）、安倍倉梯麻呂が創建した安倍寺（崇敬寺）が発祥で、鎌倉時代に現在の土地に移転しました。日本三文殊の第一霊場「奈良県・大和安倍の文殊」（他に京都府･天橋立切戸の文殊、山形県･奥州亀岡の文殊）としても知られています。境内には弁財天、奈良時代の遣唐使・安倍仲麻呂、平安時代の

安倍文殊院

土舞台

陰陽師・安倍晴明が祀られている金閣浮御堂があります。

安倍文殊院から北に５分ほど歩くと、「土舞台」と呼ばれる広場があります。ここは、聖徳太子が初めて国立の演劇研究所と劇場を設けた場所で、日本の芸能発祥の地として語り伝えられています。「日本書紀」に「推古天皇20年、百済人味摩之（みまし）が我が国に帰化して、時の摂政である聖徳太子に、呉に学びて伎楽の舞を得ました、と申し上げた。そこで太子は桜井にて我が国の少年を集めて、この伎楽の舞を習わしめた。」とあるためです。伎楽とは、古代チベットやインドの仮面劇で、西域をへて中国に伝わったとされています。

土舞台から安倍文殊院を通って南側の住宅地に向かうと谷首古墳があります。飛鳥の石舞台古墳とよく似た大型の両袖式横穴式（全長13.8m）で、開口部は狭く、大人でも何とか屈んで入ることが出来ますが、低いので頭部を打たないよう気をつける必要があります。

谷首古墳から妙法寺を経て天香久山に向かいました。天香久山は、持統天皇が詠んだ「春すぎて夏来（き）にけらし　白妙（しろたへ）の　衣（ころも）ほすてふ　天（あま）の香具山（かぐやま）」（新古今集）で有名です。天香久山神社の境内にある御神木の波波架の木（ははかのき　別名朱桜）は、「古事記」の天岩戸神話にも登場し、古代より儀式に用いられてきた御神木です。平成、令和の御代替わりに行われた大嘗祭の儀式で、斎田を決める亀卜（きぼく　カメの甲羅を焼いて、その割れ具合で吉凶を占う）に用いるため、天香久山神社から宮内庁へ波波架の木が献進されたほど、現代でも皇室と深い繋がりがあります。

天香久山神社の近くにある奈良文化財研究所・藤原宮跡資料室の都城発掘調査部は、飛鳥・藤原地城に残る遺跡（宮・京・寺院・古墳墓など）の発掘調査や整備を行い、出土した遺物（土器・木器・金属器・瓦類・木簡など）の調査や保存整理にたずさわる研究機関です。研究所１階の展示室には出土された原物や復元されたものが展示されていました。

資料室を出て真っすぐ歩いていくと、藤原京跡にコスモスが一面に咲いていました。跡地には、瓦や土器など土中に廃棄されたもの以外は、みるべき史跡は発掘されていません。当時は遷都の際に、宮殿などの建物は分解し、礎石も含めて再利用できるものは全て移転させたため、建物の痕跡は残っていないのです。藤原京（694～710）は、南北の大路と東西の大路を碁盤の目のように組み合わせた「条坊制」を日本で初めて採用した唐風都城で、持統・文武・元明天皇の３代にわたり続きました。恒久的な都として造られた、わが国初の都でしたが、山に囲まれた凹地で水はけが悪く、汚水や雨水が溜まりやすかったこともあり、人口増加に伴って疫病が流行したといわれ、わずか16年で廃都となりました。

藤原京跡近くの農協の建物の２階に橿原市藤原京資料室があり、藤原京を再現した都のジオラマ模型の展示や藤原京時代の生活を再現したアニメが流れていました。午後５時頃に近鉄八木駅に着く頃には本格的に雨が降り出し、現地で解散となりました。

奈良文化財研究所　藤原宮跡資料室（ホームページより）

ゴルフ

青年部ゴルフコンペ 新参加の3人迎え 11人で和やかにプレー

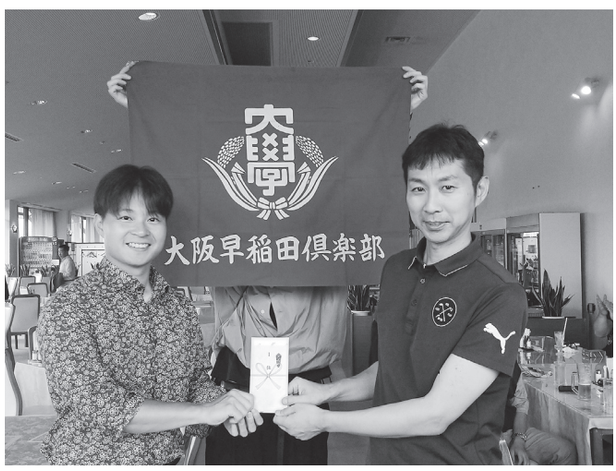
北垣　博章（平成15年政経）

青年部主催のゴルフコンペが６月29日（土）、北神戸ゴルフ場（兵庫県神戸市北区）で開催されました。気温が30度近くまで上昇する暑い一日でしたが、11人に参加いただき、親睦を深めつつ爽やかな汗を流しました。

特にうれしかったのは、青年部ゴルフ初参加となる植田力康さん（平成23年卒）や松田友佳さん（平成30年卒）、開催直前に入会いただいた大中翔太さん（令和３年卒）にも参加いただけたこと。卒業年次や学部などが異なる同伴メンバーと、それぞれの時代のキャンパスライフの話に花を咲かせることが出来ました。

ラウンド後は、コンペの表彰式があり、ベスグロ＆１位は植田力康さん（スコア82：NET73.6）、２位は大中翔太（スコア86：NET74.0）。上位を占めた青年部新会員のゴルフ技術の高さと層の厚さを示しました。懇親会では、久々の再会に笑いが絶えず、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

なお、倶楽部の諸先輩方からは、ゴルフボールなどのグッズや商品券、お酒などの豪華商品を多数ご提供いただきました。スコア順に賞品をわたすことができ、大変盛り上がりました。ありがとうございました。



青年部懇親会

徳山　享宏（平成23年商）

20～30代 14人が飲んで、食べて、しゃべり 大盛況！

青年部の懇親会が８月24日（土）、大阪市北区のグランフロント大阪にあるスペイン料理店「BANDA（バンダ）」で開催されました。まだまだ残暑が厳しい中でしたが、夜の開催ということもあり、少し秋の涼しさを感じる中での開催でした。

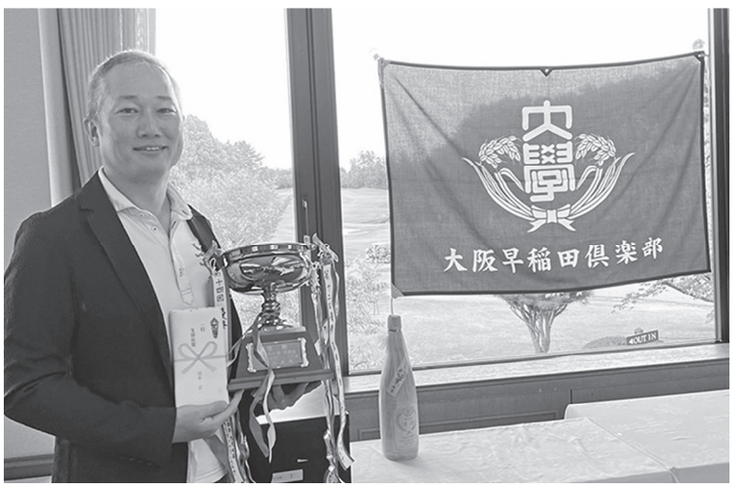
参加者は既存会員７人、新入会員７人の計14人。年齢も20代前半から30代後半まで幅広く集まり、スペイン風オムレツや大鍋に入ったパエリアなどの料理をほおばり、酒を酌み交わしながら、学生時代の思い出を語り合い、楽しい時を過ごすことができました。参加者からは、「新歓イベントや青年部のイベントへがあれば、参加したい」という声を多くいただき、青年部の結束を強めることが出来ました。

校友会ゴルフ大会 秋元さんが優勝

前田　修（平成６政経）

第14回校友会大阪府支部ゴルフ大会が９月７日（土）、兵庫県西宮市のよみうりカントリークラブで開催。大阪早稲田倶楽部の会員を中心に校友ら32人が参加。Ｗペリア方式で競い、秋元敬典さん（平12年商）がグロス84、ネット70.8で初優勝しました。

昼間の気温が30度を超える残暑厳しい天候の下、参加者たちは、年に一度の大会ならではの雰囲気を楽しみ、親交を深めました。優勝した秋元さんには、校章が彫られた焼酎の一升瓶と商品券を優勝賞品として授与。ベスグロ賞には、グロス81の薮田麻夕子さん（平４法）が輝きました。



竹田雅幸さん（昭47商）は、校友会ゴルフ大会の創設経緯の話を披露。第１回大会がタイガースゴルフクラブで2010年（平成22年）に開催されたことが紹介されました。さらに、第１回大会の前段階として計画された大会が、季節外れの大雪で中止になったことや、再度計画された大会が、早稲田ゴルフ部の現役学生や監督を招待して盛大に開催されたことも紹介されました。

加藤直樹さんの作品
天神祭写真コンテストで鳳講賞に輝く

帝国ホテル大阪が主催する「第22回帝国ホテル大阪　天神祭写真コンテスト」で、倶楽部の写真部会で活躍されている加藤直樹さん（昭58年理工）の作品「鳳神輿の宮出し輿上げ」が鳳講賞に輝きました2023年の天神祭で撮影された作品で、神輿をかつぎ上げる勇壮なシーンを色鮮やかにおさめました。加藤さんは３点出品され、そのうちの１点が選ばれました。表彰式は７月８日に帝国ホテル大阪で行われ、表彰状と副賞を手にした加藤さんは晴れ晴れとした笑顔でした。

食べ歩き会、楽しく、おいしく活動中

伊藤　馨(昭和51年政経)

食べ歩き会は、美味しい料理を食べることが大好きな、いつもの顔ぶれが集まって、わいわい楽しく、大学のサークル活動を続けているような関係が生まれています。

2024年９月は鴨川の源流近くにある京都洛雲荘で落ちあゆの塩焼など「あゆ料理」を堪能し、25年２月には味噌味スープが絶品の「ぼたん鍋」で心も体も温まりしました。

食欲の秋の25年10月は、大阪・難波の蓬莱本館でのランチ。戦後間もなく開業したお店とのことで、80代の参加者は「小学生の頃、ここでワンタンを食べ、こんな美味しいものがあるのかと感激した」と話しておられました。美味しい中華料理とお酒を楽しみながら、いろんな話で盛り上がりました。お土産は、名物の豚まんでした。

卒業年次や職業、出身地などは違っても、垣根を取り払って歓談できる。やはり早稲田は素晴らしい！　などと心地良く酔った頭で思いつつ、しあわせな気持ちで帰宅しました。

今後はミシュランの「ビブグルマン」（安くて、うまい）に選出されたこともあるお好み焼き、祇園の老舗で会食、ヨットハーバーでバーベキューなど面白そうなことを企画中です。

食べ歩き会には女性の参加者も多くおられます。けしてオッサンズクラブではありません。食べることが好きな方、大歓迎です。食べ歩き会のグループラインで連絡を取り合っていますので、ライン参加ご希望の方は私までご連絡ください。

俳句会一年の歩み（第646回～第648回）

四月句会　2023年4月18日

兼題：入学　花見　蛤

祝御入学と大書して図書券
阿と吽の蛤二つ焼かれおり
商　平

肩を組み校歌を祝う入学式
子は笑顔親不安顔入学式
こうじ

分校や一人はにかむ入学式
重箱を並べ田んぼの花見酒
いっこう

紫もくれんあはてもんありのろまあり
花見小袖此の頃とんと見かけんなあ
けんじ

小米花中にはさんで小話を
円座して酔ふて見上げる花見かな
こうき

入社式社長になるぞと勇み顔
片思い胸に秘めて卒業す
蘭　丸

蛤の潮騒聞こゆ籠の中
雲流れ土手に大の字入学す
だいち

蛤の絵合わせゆかし平安京
春風に誘われ逝きしひと葬す
秀　寛

蛤に父母の顔描き得意顔
入学式今は昔の学生服
聰　泰

祝膳蛤つゆはゆっくりと
颯爽とタカラジェンヌの入学式
松　嶋

蛤に河童座りし竹細工
お通しに蛤仕込む鮨店主
啓一朗

花の酔あと幾とせぞ幾そたび
母の手のぬくもり淡し入学児
正

今年こそ吉野へ花見と思ひしが
大東亜戦争最中入学す
喜　代

蛤の優雅なあそびありしころ
花見酒心の憂さも飲み干して
京　子

蛤焼く香り漂ふ横丁に
入学式ブカブカ制服整列し
一　博

五月句会　2023年5月18日

兼題：春　初夏一切

二上山いや遠にして夏霞
ははの日の雨はやさしくなつかしく
商　平

青空に白雲数条薄暑かな
夏日射し団扇片手に女人かな
こうじ

ぼうたんの咲く洋館に星条旗
気だるさを吹き飛ばしたり新茶かな
いっこう

蕉翁の草鞋に結びし菖蒲草
生生流転老いに新緑また一歩
けんじ

老鶯の鳴きゆく先のみ山かな
思い出のアカシヤの花淡き恋
こうき

母の日は墓前にそっとカーネーション
りんご咲く津軽娘に恋をする
蘭　丸

夏めきて野積み瓦の光りけり
坂道に花みずき咲く領事館
だいち

五月風野崎観音露店抜け
慈眼寺や本尊開帳野崎参り
秀　寛

琵琶の海漕艇溢れる春来たり
山畑るやがて大河の小糠雨
聰　泰

母の日や子ら一同に会す日に
母の日もエプロンつけてお茶を出し
松　嶋

初節句百年待ちて嫡子かな
葉桜の影を濃くして背割堤
啓一朗

夕風に欠伸する猫網戸越し
野良猫のうぶ毛輝き夏きざす
正

郭公のひねもす碆円教寺
ふるさとの城址日雀の鳴くばかり
喜　代

花蜜柑香りたどりし他人の庭
藤の花清らにぬれし百毫寺
京　子

青葉から命感じる信貴の森
信貴山に八十八夜の風匂ふ
一　博

六月句会　2023年6月20日

兼題：鰻　梅雨　蛍

鰻でもと床上げせしと言ふ友へ
降ればどかっ上がればかっと五月晴
商　平

蛍飛ぶ秘境の宿ランプ消し
蛍舞ふ浄土と結ぶ阿弥陀堂
いっこう

梅雨夕焼知らざる街に来たるやう
枇杷の種音五つ立て皿の上
けんじ

蛍舞ふ岩をかすめて貴船まで
万緑の中にひたりて染む心
こうき

蛍火が川面を写し星空に
梅雨晴れに真赤夕日雨の空
蘭　丸

梅雨深し淡海はるかにけぶりけり
ぽとぽとと雨に籠められ六月尽
だいち

雨音に目覚める梅雨の高野山
お大師の青葉まつりや芭蕉堂
秀　寛

心湿り煎茶をすする梅雨の雨
昭和恋う谷内六郎蛍の絵
聰　泰

懸案の商談決まり鰻食ふ
「蛍来い」と友と肩寄せ童歌
松　嶋

風の下梔子の香の濃く低く
針曲がりぜんまい伸びし時計草
啓一朗

蛍舞ふ君と見ていた西表
梅雨入りはのようなものと予報官
正

梅雨来る線状降水帯連れて
蛍飛ぶ暮らしや父母と兄弟と
喜　代

蛍追い全国行脚のロマンかな
どしゃ降りに蛍飛び交う生命かな
京　子

梅雨空やまたワクチンを打つことに
天ぷらと鰻屋寿し株の街
忠　延

冷酒に叡の氷河欠片入れ
登山道崩れるほどに梅雨しとど
一　博

俳句会一年の歩み（第649回～第651回）

七月句会　2023年7月18日

兼題：水無月　月見草　海開

園児らも二礼二拍手海開　商平
薄命を揺れて一夜の女王花　商平

水無月や空青くして雲流る　こうじ
水無月や窓に差し込む日の眩し　こうじ

四丁目銀座の夜の月見草　いっこう
しらら浜神主傘の海開き　いっこう

仏桑花十八センチの真っ黄色　けんじ
海開き禰宜が幣振り巫女の舞ふ　けんじ

月見てる吾もみている月見草　こうき
水無月や小さな旅を老老で　こうき

モクモクと雲見つめる海開き　蘭丸
流行の水着を着けて海開き　蘭丸

夕づきて工廠跡の月見草　だいち
青水無月ブルーが映えるフェルメール　だいち

月見草一夜限りのいのち花　秀寛
ほろ酔いの足下咲くや月見草　秀寛

子は燥ぎ母は日傘の海開き　聰泰
月見草そっとひもとく放浪記　聰泰

水無月や昼寝が癖になりにけり　松嶋
月見草湯上りの君待ちて咲く　松嶋

月見草慰霊碑も無き献花台　正
潮浴びや父の両の手握りしめ　正

嬌声の主が気になる海開き　啓一朗
青白き肌の嬌声海開き　啓一朗

海開き小さき岬の突堤まで　喜代
ぬっと出る月を待ちかね月見草　喜代

水無月の満月眺める老夫婦　京子
海開き作業途中の海の家　京子

夢二描く女の如き月見草　忠延
はやる子に祝詞はながし海開き　忠延

登山して満天の星露天風呂　一博
山開き行者とともに登りをり　一博

八月句会　2023年8月29日

兼題：送火　残暑　大豆

門火焚く習ひも稀になりし町　商平
蒼天を抉り取つたる雲の峰　商平

廃線の駅舎に残る秋暑し　こうじ
吹き飛ばす大豆の距離を競いけり　こうじ

灯火や佛は茄子の馬に乗り　いっこう
ふるさとのみそ豆つまみ地酒酌む　いっこう

へつひさんで手拭被き豆炒る母　けんじ
シャガールのブルーの深き残暑かな　けんじ

鰯雲入り日染めゆく下に居り　こうき
蟷螂の餌となりたるや蝉かなし　こうき

大豆打ち喜ぶように弾き出る　蘭丸
大豆干す畔の片隅月の影　蘭丸

秋暑し慰霊登山の老夫婦　だいち
流灯を御巣鷹に置く祖母と孫　だいち

盆供養経読む声や病み上がり　秀寛
甲子園敗者の砂の残暑かな　秀寛

子や孫や生者来たれる盂蘭盆会　聰泰
おがら炊きかすかに香る幼き日　聰泰

孫達や初送火に手を合わせ　松嶋
大豆打つ飛んで子の手に一つ入り　松嶋

何事も億劫なりし残暑かな　正
ウォーキング風が誘う今朝の秋　正

冷や麦の小鉢じやないと妻の云う　啓一朗
枝豆の湯気嗅がれたし阿弥陀様　啓一朗

寄せ返す波に委ねて霊送り　喜代
一反の稲穂囲みて畔の豆　喜代

新大豆行列出来る豆腐店　京子
新大豆地産地消の贈物　京子

阪神戦残暑を更に暑くして　忠延
朝刊を取る五六歩の残暑かな　忠延

下山後の桃の甘味が沁み渡る　一博
送り火や無念の叙に帰るのか　一博

九月句会　2023年9月19日

兼題：七草　十六夜　夜長

六夜の月ひとり占め通天閣　いっこう
七草の庭に滝あり禅の寺　いっこう

ひそやかにすすきの下のおもひぐさ　けんじ
万葉に憶良愛で詠む秋七草　けんじ

長き夜やついと手の出るゲームかな　こうき
十六夜の月を見上げて願ふこと　こうき

初霜の表面をなぜて指寒し　蘭丸
通学路落葉のジュータン生徒待つ　蘭丸

二人して旅の夜長にロゼワイン　だいち
哀しかり胡弓の調べ風の盆　だいち

「静夜思」を月に一吟十六夜　秀寛
直葬の炉前法要秋の空　秀寛

七草や女人の秋の佇まい　聰泰
憶良らが愛でし采女の奈良の秋　聰泰

十六夜や一夜遅れの願い事　松嶋
萩桔梗競ひ並びし無人駅　松嶋

十六夜の岸打つ波も茫茫と　正
白猫や色なき風の中にあり　正

会ひたきは鑑真和上と葛の花　喜代
影踏みをしてご近所へ貰ひ風呂や　喜代

夜長には針仕事する母の背　京子
秋空に馬のいななき都井岬　京子

スラスラと秋の七草言へし友　忠延
萩桔梗競ひ並びし無人駅　忠延

夜明けまで人の流れや風の盆　一博
十六夜の大峰山に風渡る　一博

俳句会一年の歩み（第652回～第654回）

十月句会　2023年10月17日
兼題：初霜　冬めく　落葉

天高し八冠の棋士ただ謙虚　いっこう

何となく電話してみる秋惜しむ　いっこう

ひと日また平穏無事に秋の夜　けんじ

秋高しプラハに鐘の音の降る　けんじ

大空を鴉むれゆく秋の暮　こうき

紫の枝垂れるほどに式部の実　こうき

飛火野に微かに聞こゆ水澄むや古塔の影の飛鳥川　だいち

落葉焚き庵の庭に焼却炉　だいち

仲秋の茶会の三席信貴の山　秀寛

千両の実に初霜の薄化粧　秀寛

落葉だに歌の心に挑みたり　聰泰

冬めくやホットコーヒーなみなみと　聰泰

落葉溜め隣の墓と比べけり　松嶋

ぬくもりは猫の形見か日向ぼこ　松嶋

名号を唱へし夜や霜の声　正

冬めくとスカーフマフラーどの色に　正

マロニエの落葉踏むパリ幾年ぞ　喜代

息をのむ大杉谷の紅葉はふかふかの落葉踏みし愛宕山　喜代

十一月句会　2023年11月21日
兼題：秋・冬一切

食ひそびれ寝そびれたりし熊なると　一博

新海苔を焙る手際も若女将　一博

潮の香やふるさと安芸のかき雑炊　商平

吹き寄せの落葉が囲む道祖神　商平

須磨寺に笛聞こえそな冬しぐれ　いっこう

小春日や影と二人の古寺巡礼　いっこう

小春日や妻の診察無事に終了　けんじ

風に舞ひ風を送りて枯尾花　けんじ

安芸深し草餅美味しい茶も美味しい　こうき

城仰ぎ早稲田の森の初時雨　こうき

夕されば勝尾寺深き落葉かな　蘭丸

短日や水屋明りに母の影　だいち

聳え立つ東寺の塔や秋深し　だいち

高虎の築づきし津城秋の空　秀寛

冬の滝滴も絶えて雪を待つ　秀寛

古日記記載なき日の寂しさや　聰泰

ラグビーや荒ぶる雪の早明戦　聰泰

おでん屋で締めはやっぱり鮭茶漬　松嶋

我が影と戯る猫や冬日向　松嶋

冴ゆる夜やひとひらの文卓上に　正

朝まだき秋光浴びてけふの無事　正

雲一つなき秋空ひろごる明石まで　喜代

冬めいて母の遺影と話す朝　喜代

逮夜毎僧の読経の冬めいて　啓一朗

冬めきて正倉院の話題ちら　啓一朗

冬めきて同窓会の知らせなど　忠延

信濃路は十一月の空青き　忠延

秋深し夕闇迫る石舞台　一博

十二月句会　2023年12月19日
兼題：北風　落葉　師走

オモニいい顔白菜山積に　一博

年忘れ悲喜こもごも肴とし　一博

白菜を洗ふ農婦の指白し　商平

しんしんと八坂の塔に雪の舞ふ　商平

千枚田冬田になるも千枚田　いっこう

憂きことの多き世に生く冬日濃き　いっこう

淡淡と生きてる様や日記果つ　けんじ

もうきたか楽あり苦あり年忘れ　けんじ

山房へ冬すみれ手に夏目坂　こうき

冬の朝レンブラントの解剖画　こうき

来る年に終い弘法人の波　だいち

クリスマス米寿と併せ祝う宴　だいち

ありがたき欠ける者なき忘年会　秀寛

白菜は神が宿るや故宮院　秀寛

四ツ橋の名のみ残りて師走燦　聰泰

エレベーター人みな黙に師走入る　聰泰

年忘繁昌亭で笑い納め　喜代

祝宴やまずは一口鮪鮨　喜代

並ぶ靴またも減ったり年忘れ　松嶋

犒め面白菜求む手も冷えて　松嶋

御堂筋イルミネーション年忘れ　正

ギオンの夜白菜鍋に鐘の音　正

久闊をわびて始まる忘年会　蘭丸

四、五人は程よき人数年忘れ　蘭丸

年越しは膝に猫乗せ独り酒　忠延

荒れ狂う大間の波間鮪舟　忠延

俳句会一年の歩み（第655回～第657回）

一月句会　2024年1月16日

兼題：新年一切

笛一声杜を深めて淑気満つ　商平

国生みの島群れなし初鴉　商平

老僧も子らに囲まれ独楽廻し　初稽古辰のかんざし舞妓舞ふ　いっこう

惨し元日の大地震戦慄きぬ　薬師寺の八一の歌碑に初日影　けんじ

東の赤く染まりて三日かな　万両の赤い実鳥の餌と消ゆ　こうき

初雪や帛紗畳みて裏千家　天竜の速き流れや雪催　だいち

法螺の音と太鼓で迎ふ初日の出　初詣虎の当り矢信貴の山　秀寛

人知れず雪に顔出す福寿草　浮び出る畝傍耳成初茜　聰泰

初春やウィンナワルツと戦争と　なゐあとに雪が降る降る七日なり　喜代

福笹に多き願いの重さかな　玻璃ごしの冬太陽背中に待合室　京子

福男競ひし年の初戎　初詣おかげ横丁食べ比べ　松嶋

田作りや母の味には未だ遠く　元日の無常の風よなゐ無情　正

去年今年断ち切る地震や能登の春　悴みて苦難の行く末案じけり　忠延

我が家にも孫集まりてカルタ取り　元旦の暦も新た気も新た　蘭丸

清清し穂高から見る初日の出　初詣願い事多々百円で　一博

二月句会　2024年2月20日

兼題：立春　凍解　春寒

春寒の雨の夜すがらつれづれに　薄氷の日に染まりつつ溶けゆくを　商平

凍解の北の大地に馬の群れ　立春の富士の裾野で祝ふ喜寿　いっこう

輪島塗の椀に初物白魚汁　寒明くる地軸のかたぶきありがたや　けんじ

斑雪庭に織り成す模様かな　白梅の坂を下りれば光る海　こうき

連翹の飛鳥けぶるや雨模様　春立ちて畳なはる山古都の空　だいち

二月遍路氷柱横目に横峰寺　枝垂れ梅紅白並び香り立つ　秀寛

春遠し悲涙乾かぬ能登の島　みちのくの春は陽気にずんだもん　聰泰

春立つや異動内示に武者震い　凍解や散歩の子猫土馴染む　松嶋

料峭や軋めく門扉彼の人か　市並ぶ百万遍の梅の寺　正

早春やスーツの生地を値ぶみする　紀元節亡父の年令又数え　啓一朗

雪解けを待ちて故郷に春が来る　立春に猫騒がしく恋を告げ　蘭丸

春寒や手袋忘れ気付くほど　春寒ややはり車で行くことに　忠延

春立ちぬなにごともなき幸おぼえ　禅林に響く囀ずり初音かな　敬子

立春の白川郷は雪の中　ミモザ咲く遥か向こうに八ヶ岳　一博

三月句会　2024年3月19日

兼題：春一番　紅梅　白酒

壱岐の漁師春一番船で待つ　白壁に紅梅映えて白鷺城　いっこう

蕾より春の光の迷企羅らに　億年のしずくもなきや涅槃西風　けんじ

春一番待っていました旅心　紅梅や流れるように散るもよし　こうき

春一番潮鳴りひびく九十九里　春一番双子の眠る乳母車　だいち

弥生空五百羅漢や雲辺寺　結願の追善法要遍路妻　秀寛

世の姿心沈めど春は春　梅林に紅い甚平の猿回し　聰泰

うけしげに白酒注ぐ君の母　白酒や嗜む君の頬紅く　松嶋

源平咲きともにこぼるる梅の花　落椿とは小胆で大胆な　正

足場折れ鳶に受難の春一番　菅公の軸借景に盆梅展　啓一朗

紅梅と移り香にして届けたし　ふるさとの山々低きが春化粧　喜代

吊り橋を大きく揺らす春一番　故郷の紅梅一枝入る便り　京子

今年又主なき庭濃紅梅　願わくば能登にこそ吹け春一番　忠延

春一番穂高連峰まだ寒し　奥穂高稜線脇の忘れ雪　一博

大阪府支部2024年度総会で田中総長ご講演

校友会大阪府支部の2024年度定時総会が2024年11月24日、大阪・キタのホテル阪急インターナショナルで開催され、田中愛治総長が「世界人類に貢献する人材を育てる早稲田～創立150周年記念事業への道筋」のテーマで講演されました。

総会には98人が出席。来賓に田中総長のほか校友会本部の廣瀬進治・常任幹事、校友会事務局長兼総長室副室長の本間知佐子さん、早稲田大学と交流を続ける奈良県立医大の細井裕司・理事長兼学長らをお迎えしました。

総会では、23年度の支部会計、活動報告および24年度予算と総会、新年会、ゴルフコンペ、稲門祭協賛などの活動計画を承認。支部の幹部人事では、副支部長に新たに古市尚さん（昭和57年教育）、幹事長に伊藤伸さん（昭和60年教育）、副幹事長に福嶋千恵子さん（平成６年政経）が選任されました。古市さんは、フィーストインターナショナル㈱代表取締役社主、伊藤さんは㈱心斎橋共同センタービルディング顧問、福嶋さんは㈱輝づき不動産代表取締役の不動産鑑定士です。

田中総長は総会のあと、１時間にわたってご講演。慶応が上回っていた入試の偏差値を早稲田が奪還し、早慶併願の際も進学は早稲田７、慶応３と優位になっている状況を説明。「私学のトップに返り咲いた今こそ脱偏差値教育を進め、世界で輝くたくましい人材を育てていく必要がある」と力説されました。

さらに、創立者大隈重信侯が唱えた「一身一家一国の為のみならず、進んで世界に貢献する抱負が無ければならぬ」の理念のもと、「総合知による人類への貢献」を進めることを強調。計画・実行中のプロジェクトとして、災害時に被災地で人命救助や医療支援に活躍するロボットの開発や、過去200年以上の戦争や紛争に関するビッグデータをＡＩで解析し、戦争・紛争を未然に防ぐための政策提言を行う研究などを紹介されました。

続いて懇親会が行われ、田中総長も気軽に記念撮影に応じられ、先輩、後輩の和やかな歓談の輪が広がっていました。

2024年度の役員・幹事は以下の通り。

支部長　羽牟正一（昭51法　関西テレビ放送相談役）
副支部長　竹田雅幸（昭47商　平成金属代表取締役社長）、熊澤一郎（昭51商　財産プランニング研究所代表取締役社長）、廣冨靖以（昭53政経　共英製鋼代表取締役社長）、古市尚（昭57教育　フィーストインターナショナル代表取締役社主）、藤野研一（昭62理工　関西電力代表執行役副社長）、嶋田泰夫（昭63政経　阪急阪神ホールディングス代表取締役社長）
監事　松本勝幸（平１政経）、長谷川浩之（平３商）
幹事長　伊藤伸（昭60教育）
副幹事長　福嶋千恵子（平６政経）
改選幹事（任期２年）27人
〈役員〉竹田雅幸（昭47商）、古市尚（昭57教育）、嶋田泰夫（昭63政経）
〈昭和〉尾下千明（昭47法）、久保允誉（昭47商）、野村公平（昭47法）、福島裕（昭48商）、村田吉優（昭51政経）、尾田沙智乎（昭52商）、小西康仁（昭52商）、荒武貞雄（昭56法）、贄川芳郎（昭57教育）、伊藤伸（昭60教育）、森本宏（昭60法）、藤木玄三（昭62理工）
〈平成〉種田ゆみこ（平１商）、水上ただし（平３社学）、大西平一（平４政経）、音田裕一郎（平４人科）、梅原秀昭（平５法）、福嶋千恵子（平６政経）、北川博（平10法）、酒井敏行（平11人科）、白原早織（平11人科）、三宮圭司（平15人科院）、小仲后子（平18法）、播野貴也（平19人科）
非改選幹事（任期２年）26人
〈役員〉熊澤一郎（昭51商）、羽牟正一（昭51法）、廣冨靖以（昭53政経）、藤野研一（昭62理工）
〈昭和〉角和夫（昭48政経）、黒川明（昭52政経）、小林一則（昭55政経）、小林直樹（昭58政経）、西嶌一泰（昭58政経）、中村雄一（昭59理工）、平岡史生（昭59教育）、原田裕子（昭60政経）、滋野雅之（昭63理工）
〈平成〉和田浩孝（平１教育）、石原美保（平４法）、藤原嘉人（平４政経）、古田哲也（平４政経）、井本久子（平６教育）、関寛之（平８理工）、秋元敬典（平12商）、北側元之（平14教育）、北垣博章（平15政経）、伊丹香寿美（平16法）、奥野陽子（平18人科）、下村和也（平20社学）、岡根裕樹（平26商）

本部校友会の商議員、代議員改選 大阪府支部から26人選出

大学本部・校友会の商議員、代議員が2024年６月、改選されました。校友会大阪府支部から商議員14人、代議員12人を選出いただきました。任期は2024年６月から４年です。大阪選出の議員は次のみなさまです。この方々とは別で本部選出の商議員で大阪関係の方もおられます。下記にご紹介しています。

肩書は６月１日現在。

【商議員】

1 竹田 雅幸(昭47商)
平成金属株式会社 代表取締役社長

2 小原 正敏(昭51法)
きっかわ法律事務所 弁護士

3 熊澤 一郎(昭51商)
株式会社財産プランニング研究所 代表取締役

4 羽牟 正一(昭51法)
関西テレビ放送株式会社 相談役

5 尾田 沙智乎(昭52商)
極東一生コンクリート工業株式会社 代表取締役

6 小西 康仁(昭52商)
ネッツトヨタニューリー北大阪株式会社
取締役会長

7 廣冨 靖以(昭53政経)
共英製鋼株式会社 代表取締役社長

8 古市 尚(昭57教育)
フィーストインターナショナル株式会社
代表取締役社主

9 平岡 史生(昭59教育)
株式会社ワッツ 代表取締役社長

10 原田 裕子(昭60政経)
ゆうウィメンズクリニック 医師

11 森本 宏(昭60法)
北浜法律事務所 代表・CEO・弁護士

12 横山 利治(昭63理工)
ＹＫアキュラシー株式会社 代表取締役社長

13 藤野 研一(平１理工院)
関西電力 代表執行役副社長

14 松本 勝幸(平1政経)
松本公認会計士事務所

【別枠・本部選出商議員2024（大阪関係）】

菅原 公一(昭45法)
株式会社カネカ 代表取締役会長

福井 澄郎(昭45政経)
元・関西テレビ放送株式会社 代表取締役社長

久保 允誉(昭47商)
株式会社エディオン 代表取締役会長 兼 社長執行役員

角 和夫(昭48政経)
阪急阪神ホールディングス株式会社 代表取締役会長

村田 吉優(昭49商)
株式会社サイネックス 代表取締役社長

黒川 明(昭52政経)
参天製薬株式会社 取締役会長

大橋 善光(昭53政経)
読売テレビ放送株式会社 代表取締役社長

上坂 隆勇(昭55商)
株式会社きんでん 代表取締役社長

廣田 康人(昭55政経)
株式会社アシックス 代表取締役会長

嶋田 泰夫(昭63政経)
阪急阪神ホールディングス株式会社 代表取締役社長

【代議員】

1 小林 一則(昭55政経)

2 森本 宏(昭60法)
北浜法律事務所 代表・CEO・弁護士

3 種田 ゆみこ(平１商)
株式会社ブレイン 取締役・公認会計士

4 和田 浩孝(平１教育)
ダブルライズ税理士法人 代表社員税理士 所長

5 水上 ただし(平３社学)
一般社団法人SDGsソーシャルデザイン協会 理事

6 大西 平一(平４政経)
行政書士・結婚相談所経営

7 井本 久子(平６教育)
株式会社イチネンホールディングス
取締役常務執行役員

8 福嶋 千恵子(平６政経)
株式会社輝づき不動産 代表取締役

9 前田 修(平６政経)
関西電力株式会社 コンプライアンス推進本部
副長

10 酒井 敏行(平11人科)
スリーウェル経営税理士法人 代表税理士

11 秋元 敬典(平12商)
プルデンシャル生命保険株式会社 課長

12 北垣 博章(平15政経)
株式会社電通マクロミルインサイト
中小企業診断士

倶楽部へようこそ　新入会員を歓迎

入会者（2023年９月～2024年９月）

姓名	卒年	学部	勤務先	役職
中島　誠一郎	1996	人間科学	株式会社インフラプラス	
丹呉　公哉	1990	政治経済	明治安田生命保険相互会社	大阪本部大阪総合法人部長
久保田　淳市	1980	理工	早稲田大学	
井上　武俊	1993	商	合同会社オフィスマツシマ	取締役
井伊　淳平	2013		関西電力	ソリューション本部 法人営業第一部
人見　将広	2013	商	三井住友信託銀行株式会社	
内田　清吉	1989	商	株式会社電通西日本	常務執行役員
内田　琴美	2014	文化構想	株式会社自己肯定感	代表取締役社長
冨加見　俊彦	1994	社会科学	あいおいニッセイ同和損害保険㈱	関西企業営業第二部部長
北岡　貴弘	2008	法	株式会社 KPMG FAS	シニアマネージャー
原村　健二	1992	商	独立行政法人造幣局	総務部長
坪内　雅裕	1992	社会科学	プルデンシャル生命保険株式会社	営業所長
大中　翔太	2021	人間科学	堺市役所	
大佛　典子	2001	教育	法務省	
安田　匡	2016	商	株式会社ゼニス・キャピタル・アドバイザーズ	代表取締役
小林　研太	2011	理工	株式会社ストライク	
小西　真之	2009	商	株式会社 Fine T&H（イベント映像・企画制作）	人事部　課長
平岡　泰幸	2022	経営管理研究科	日本 M&A センター	
廣木　友明	2013	商	大塚製薬株式会社	貿易部
廣江　良一	1961	商		
後藤　貴久子	1976	政治経済		
志甫　直哉	2011	人間科学	枚方市議会議員	
房谷　良彦	1992	教育	がるうだ経営事務所（中小企業診断士）	
新井　慈久	2018	社会科学	野村證券株式会社　大阪支店	法人コンサルティング一部
杉本　洋子			パナソニック健康保険組合	
栗原　春菜	2021	スポーツ科	タマノイ酢株式会社	
栗原　義幸	1987	社学	(株）新井組	
森島　弘光	1990	教育	丸紅株式会社	執行役員　大阪支社長
植田　力康	2011	スポーツ科	株式会社植田建設	経営企画本部長・東京支店長
榎元　千顕	2011	社会科学	第一生命保険株式会社	
櫻井　秀樹	1987	理工	(株）クボタ　および　櫻井アドバイザリー	
永井　隆太	2019	スポーツ科	プルデンシャル生命保険株式会社	大阪第四支社
永田　恒	2012	商	奈良県議会	
沖中　健人	2015	文学	吉本興業（カ	
濱　潤哉	2012	商	野村證券株式会社	WM課　課長
瀬尾　健太	2024	法	西日本旅客鉄道株式会社	天王寺駅　運輸管理係
生熊　宏美	2007	人間科学	フリーアナウンサー（フリーランス）	
田中　隆之	1987	政治経済	読売新聞大阪本社	代表取締役社長
疋田　明	1982	法	エム・ユー・ビジネスサービス株式会社	
益子　繕謙	2008	商	野村證券株式会社	
石井　直人	2008	商	国土交通省	
石島　裕介	2023	商	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	
竹之内　浩光	1992	社会科学	学校法人大阪夕陽丘学園	理事・短大事務局長
菊池　美帆	2017	教育	公務員	

入会者

姓名	卒年	学部	勤務先	役職
葛　治平	2023	基幹理工	近畿車輛株式会社	
西村　有平	2022	商	株式会社鴻池組	
西田　有希	2007	会計研究	有限責任監査法人トーマツ	
谷川　公一	1977	法	株式会社ダイショウエステート	
遠藤　大介	1997	社会科学	ユアサ商事株式会社	
門田　成朗	2016	法	ウルトジャパン株式会社	
須賀　政典	1993	社会科学	出光興産株式会社	関西支店　支店長
高橋　直也	2015	商	第一生命生命保険株式会社	大阪法人営業部課長
鳥谷　敬	2004	人間科学	株式会社 LAZO	
齋藤　友香	2012	法	株式会社早稲田大学アカデミックソリューション	

退会者（2023年９月～2024年９月）

姓名	卒年	学部	勤務先	役職
三井　雄馬	2018	政治経済	野村證券株式会社	大阪支店法人コンサルティング部
伊藤　健司	1989	政治経済	（株）ナリス化粧品	取締役
佐川　太一	2021	スポーツ科	（株）マキタ	大阪営業所
佐藤　光宏	1978	理工	大阪製鐵　株式会社	取締役
佐藤　恵津子				
児島　史典	1987	教育	HKK Chain Corporation of America,	President
原　佐知子	1963	教育		
友岡　賢二	1989	商	フジテック株式会社	専務執行役員デジタルイノベーション本部長
吉川　輝彦	1987	法	阪急阪神不動産株式会社	内部監査部長
大河内　茂太	1995	政治経済	衆議院議員稲田朋美事務所	国会議員政策担当秘書
安若　多加志	1990	法	法修館法律事務所	所長
宗盛　重暁	2002	政治経済	DAYBREAK（趣味収集物等買取業、コンサルティング）	
小山　君一	1992	理工	商工中金船場支店	支店長
山元　唯光	1984	政治経済	三菱ケミカル株式会社　西日本支社	業務部門　総務グループマネジャー
廣瀬　敏樹			株式会社エルデフォート	代表取締役社長
廣瀬　桃子			株式会社エルデフォート	取締役
志村　章一郎	1994	教	ＳＭＢＣ日興証券株式会社	
改発　有香	2017	人間科学	ヒルトン大阪	営業部　セールスマネージャー婚礼担当
松井　利行	1993	教育	㈱松井泉	代表取締役
森　吉庸	2007	教育	株式会社すごい組織	代表取締役社長
森井　勝	1961	政治経済	関西テレビ	元専務取締役
河本　裕樹	2003	法	山陰合同銀行尼崎支店	支店長代理
玉野　博昭	1983	理工		
竹田　直美	2009	国際教養	楽天株式会社	Web クリエーター・グラフィックデザイナー
青野　達哉	1985	商	大阪読売サービス株式会社	代表取締役社長
髙岡　澄子	1975	法	大阪簡易裁判所	民事調停委員
髙松　啓二	1973	政治経済	㈱近鉄百貨店	代表取締役　会長
鷲野　公彦	1999	商	三菱ＵＦＪ銀行	

2024年度 執行役員、監事、事務局長及び各担当理事名簿

会長	黒川　明	昭52
理事長	小西　康仁	昭52
副理事長	荒武　貞雄	昭56
副理事長	古市　尚	昭57
副理事長	原田　裕子	昭60
副理事長	横山　利治	昭63
副理事長	和田　浩孝	平1
副理事長	水上ただし	平3
副理事長	石原　美保	平4
副理事長	秋元　敬典	平12
監事	大砂　裕幸	昭56
監事	種田ゆみこ	平1
事務局長	北垣　博章	平15
広報担当理事	音田裕一郎	平4
広報担当理事	大西　平一	平4
会計担当理事	酒井　敏行	平11

新任理事（任期2年）36名

竹田　雅幸	1972(昭47)商
奥野　富雄	1974(昭49)社学
尾田沙智乎	1977(昭52)商
黒川　明	1977(昭52)政経
豊島　恵子	1977(昭52)法
田村　昌之	1979(昭54)法
島田　隆史	1979(昭54)政経
賀治　宏至	1980(昭55)商
荒武　貞雄	1981(昭56)法
古市　尚	1982(昭57)教育
河野　一博	1984(昭59)社学
中村　雄一	1984(昭59)理工
平岡　史生	1984(昭59)教育
大久保　滋	1985(昭60)政経
原田　裕子	1985(昭60)政経
入澤　知佳	1987(昭62)社学
横山　利治	1988(昭63)理工
嶋田　泰夫	1988(昭63)政経
滋野　雅之	1988(昭63)理工
高橋　清之	1988(昭63)政経
大塚　紹子	1989(平01)文
長谷川浩之	1991(平03)商
石原　美保	1992(平04)法
音田裕一郎	1992(平04)人科
柴田　博	1992(平04)教育
福嶋千恵子	1994(平06)政経
阪口　博教	1996(平08)法
関　寛之	1996(平08)理工
白原　早織	1999(平11)人科
秋元　敬典	2000(平12)商
阪本　成樹	2000(平12)商
北側　元之	2002(平14)教育
北垣　博章	2003(平15)政経
小仲　后子	2006(平18)法
播野　貴也	2007(平19)人科
中谷　睦	2011(平23)教育
澤田沙都子	2015(平27)スポーツ

現任理事（任期1年）37名

田尾　秀寛	1969(昭44)商
向井　利明	1969(昭44)政経
今澤　哲朗	1970(昭45)政経
山澤　倶和	1971(昭46)法
西田　隆郎	1972(昭47)商
角　和夫	1973(昭48)政経
保田　洋三	1973(昭48)法
藤原　充	1976(昭51)商
熊澤　一郎	1976(昭51)商
伊藤　馨	1976(昭51)政経
井上　敏彦	1976(昭51)文
小西　康仁	1977(昭52)商
佐藤　光宏	1978(昭53)理工
小林　一則	1980(昭55)政経
田中啓一朗	1980(昭55)社学
藤林　精二	1981(昭56)法
西嶌　一泰	1983(昭58)政経
森本　宏	1985(昭60)法
稲部　勝博	1985(昭60)商
大橋　哲也	1985(昭60)政経
伊藤　伸	1985(昭60)教育
岡﨑　信一	1985(昭60)法
和田　浩孝	1989(平01)教育
水上ただし	1991(平03)社学
大西　平一	1992(平04)政経
古田　哲也	1992(平04)政経
梅原　秀昭	1993(平05)法
前田　修	1994(平06)政経
井本　久子	1994(平06)教育
梶谷　健治	1997(平09)社学
酒井　敏行	1999(平11)人科
免　範親	2003(平15)理工
伊丹香寿美	2004(平16)法
藤田沙穂里	2004(平16)法
奥野　陽子	2006(平18)人科
徳山　享宏	2011(平23)商

大阪早稲田倶楽部

年誌　vol.179　発行：2024年12月

〒530-0017　大阪市北区角田町8-47　阪急グランドビル５階
TEL：06(6360)6222
FAX：06(6360)6223
URL：https://osakawaseda.jp/
mail：125@osakawaseda.jp
倶楽部業務時間：月・水・金（祝日、年末年始・お盆を除く）
13:00〜18:00

編集／大阪早稲田倶楽部広報委員会　大阪読売サービス㈱
印刷／大阪読売サービス㈱